

| | | | |
|-------|-----------------------------|------|-------------|
| 3類型 | 農林水産物 | 通巻番号 | 2-26-006 |
| 地域資源名 | アピオス | 認定日 | 平成27年2月2日 |
| 地域 | 青森県むつ市、大間町、東通村、 風間浦村、佐井村 | 所管省庁 | 農林水産省、経済産業省 |

事業名：青森県下北半島産アピオスを活用した食品開発、販売事業

会社名：河野商店

所在地：青森県むつ市桜木町5番61号

連絡先：TEL：0175-34-9330

URL：<http://apios.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・下北半島は、高齢化や後継者不足、指定天然記念物の「ニホンザル」や「ニホンカモシカ」による農産物の食害などの問題から耕作放棄率は45.7%と全国平均の約4倍(平成22年)となっている。
- ・耕作放棄地の再利用のため様々な農作物を栽培する中、青森県が平成24年度から「まさかりアピオス産地づくり事業」を実施し、下北地域でアピオス栽培が急速に普及することになった。
- ・本事業では冷蔵対応の蒸しアピオスを主力商品と想定し、規格外品を使用した粉末、サプリメント、Lサイズを原料としたアピオスチップ等を開発、販売する計画である。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・健康に良いといわれる根菜としてはアピオスの他にヤーコン、菊芋があり、青森の健康・栄養3根菜と言われているが、いずれも生産量が少なく競合状態とは言えない。
- ・高カロリー野菜として代表的な枝豆(135kcal※)、にんにく(134kcal※)を大幅に上回る198kcal※の高カロリー食材である。また、アピオスにはカルシウムがイモ類に比べ格段に多く含まれている。 ※いずれも100g当たりのエネルギー



耕作放棄地

◆市場性

- ・「青森の黒にんにく」は本格的な販売開始から8年しか経過していないが急速に売り上げ規模を拡大している。
- ・また、近年、エナジードリンク市場が急成長しており新規健康カテゴリーが生まれている。
- ・アピオスは高カロリー、高タンパクで鉄分、カルシウムを豊富に含み、新規健康カテゴリーのキーワードで表現される「疲れたくない」+「新しいもの」+「手軽で前向き」の市場ニーズに十分応えられる。



生育状況(7月)

◆販路

- ・耕作放棄地の再生と首都圏への農産物を使用せずに栽培した野菜の供給を目的に一般社団法人北のまちふるさとプロジェクトを設立。事業展開を進める中、アピオス専門店として河野商店を独立させ、蒸し冷凍アピオスとして都内での販売を開始。都内2カ所のアンテナショップの他、Webやテレビショッピングを介した試験販売を行っている。
- ・業務用としては、新たな健康野菜としてレストランチェーンなどの販路を開拓する。



アピオス

地域資源における関係事業者との連携

- ・青森県下北地域県民局が開催した下北アピオスフォーラムを母体に河野代表が会長となり農業者を中心とした「下北アピオス振興会」が設立され、アピオス生産の取り組みを牽引することになった。